

F. 建築計画

(1) 検討の経緯

令和7年 7月	生徒会役員から意見収集、アンケート
令和7年 8月	こどもワークショップによる意見収集 岡垣中学校教職員へのアンケート
令和7年10月	岡垣中学校PTA役員から意見収集
令和7年11月	地域代表（岡垣中学校運営協議会役員）から意見収集
令和8年 4月	配置案詳細検討
令和8年 9月	配置案決定、岡垣中学校建替工事基本計画策定

(2) 計画の与条件

施設を整備するための与条件は次のとおりです。

<生徒数状況>

岡垣中学校		2026年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年
生徒数(全体)		502	501	470	429	426	415	406	382
1学年 当たり	生徒数	169	167	157	143	142	138	135	127
	学級数	5	5	5	5	5	4	4	4

※生徒数について、2026年は実績値。2030以降は、令和7年3月31日現在の住民基本台帳人口を基にコーホート変化率法にて推計した児童生徒数を採用。

※学級数について、2026年は実績値。中学校設置基準では1学級あたり40人として定められているが、将来的に1学級あたり35人となることが想定されるため、ここでは1学級あたり35人として算出。

<部活動の状況（令和7年度）>※年度によって人数の変動あり

【運動部】	卓球部（男女17人）・バレーボール部（男女18人）・バスケットボール部（男女38人） バトミントン部（男女42人）・ソフトテニス部（男女45人）・陸上部（男女35人） 軟式野球部（男24人）・サッカー部（男24人）
【文化部】	吹奏楽部（45人）・家庭部（25人）・美術部（27人）
【学校外活動】	剣道部（男女10人）・柔道部（男女2人）→現在武道場が無いため
【学校外活動】	水泳部（男女12人）→今後も外部で活動する
【大会のみ引率】	硬式テニス部（3人）・体操部（2人）・空手部（3人）→今後も外部で活動する

<職員数（令和7年度）>※年度によって人数の変動あり

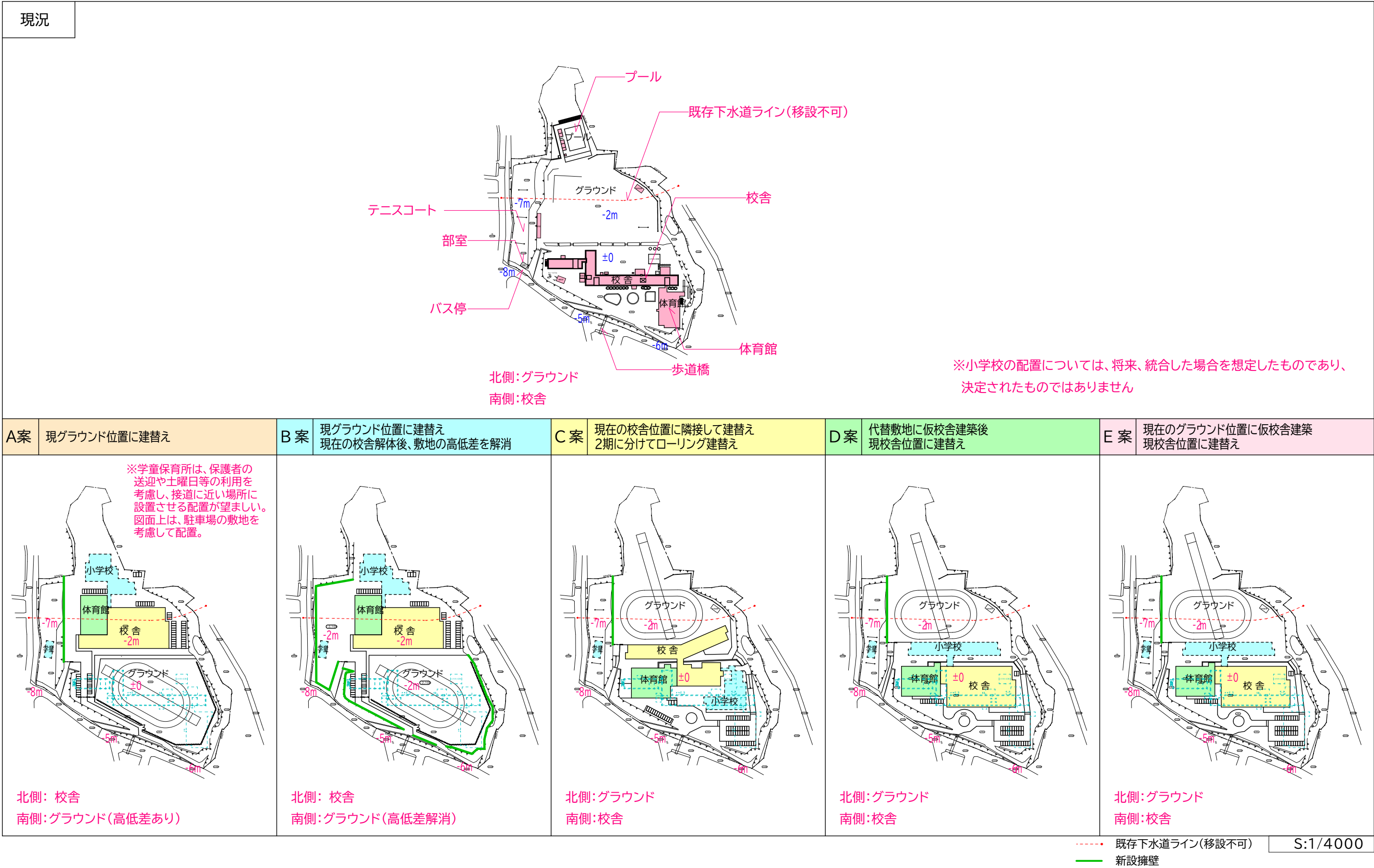
校長	教頭	国語	社会	数学	理科	英語	音楽	美術	保健体育	技術	家庭	養護教育	事務主幹	補導	特別支援学級	通級指導教室	計
1	1	3	3	4	3	4	1	1	2	1	1	1	1	1	4	1	33

<駐車場・駐輪場>

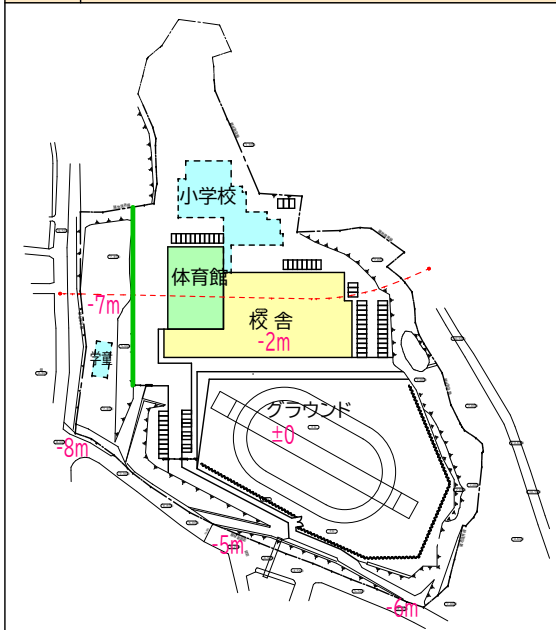
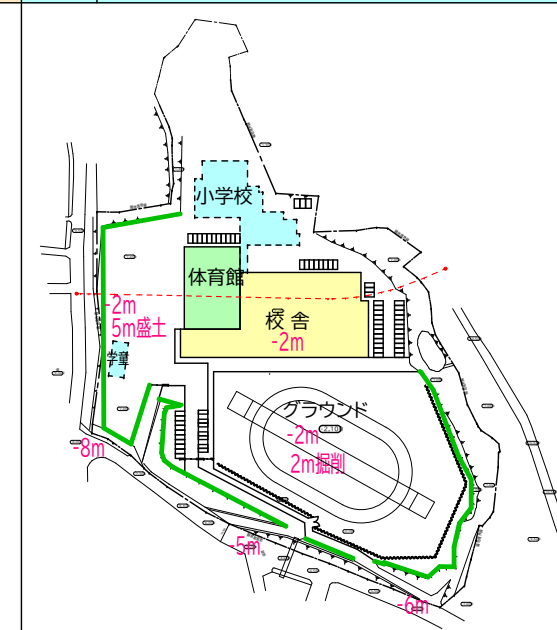
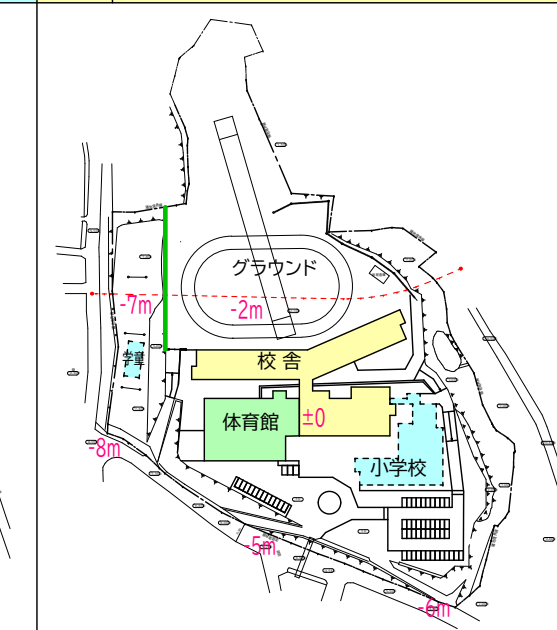
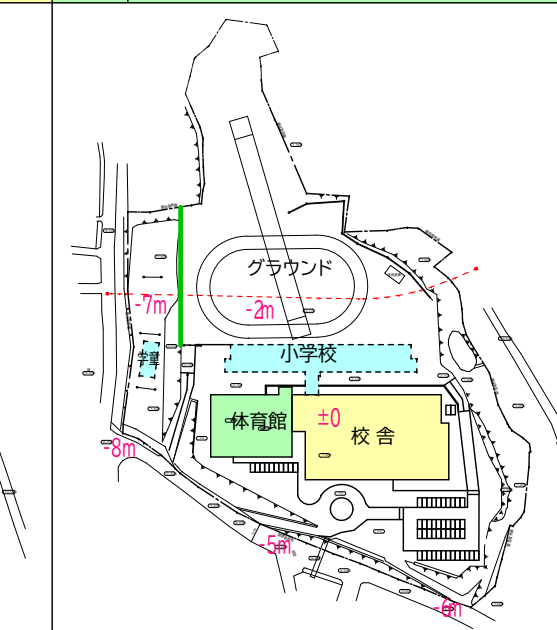
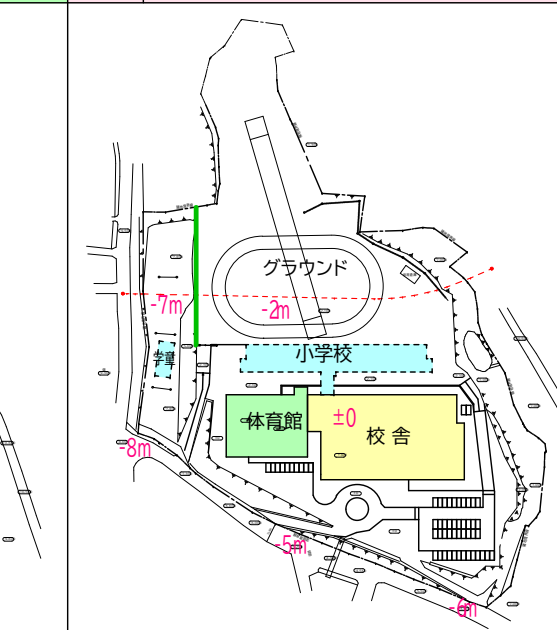
【駐車場】	66台（来客用、職員用、サービス用）
【駐輪場】	130台

(3) 比較検討資料

建築計画について、A案～E案の5案で検討を行いました。



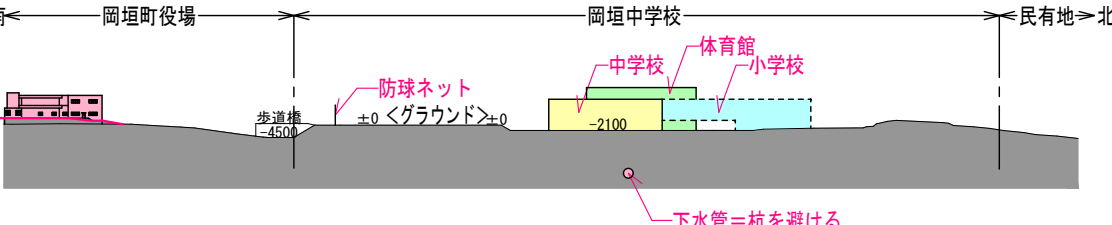
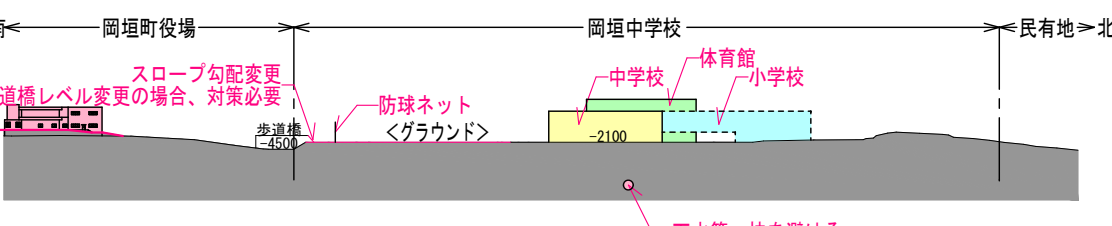
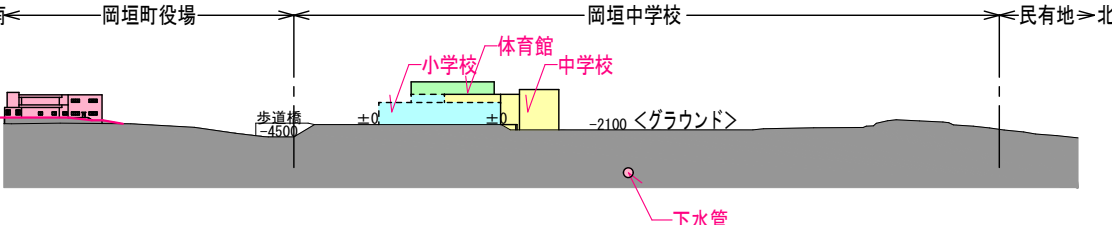
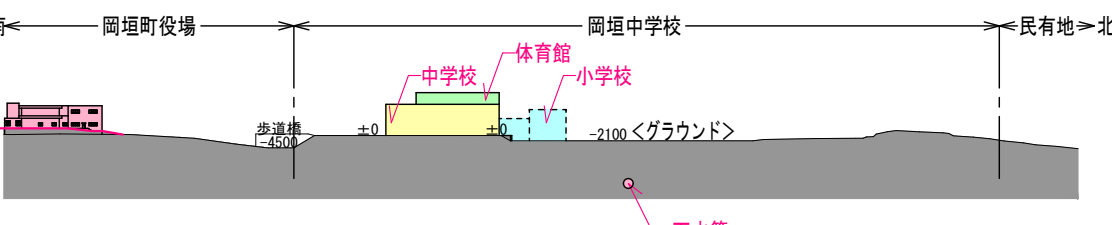
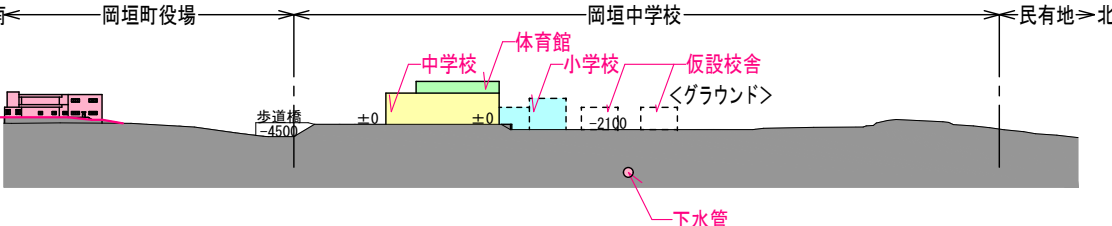
<比較検討資料(建替え工程)>

A案	現グラウンド位置に建替え	B案	現グラウンド位置に建替え 現在の校舎解体後、敷地の高低差を解消	C案	現在の校舎位置に隣接して建替え 2期に分けてローリング建替え	D案	代替敷地に仮校舎建築後 現校舎位置に建替え	E案	現在のグラウンド位置に仮校舎建築 現校舎位置に建替え
									
【 工期】 約4年		【 工期】 約5年		【 工期】 約5年		【 工期】 約5.5年		【 工期】 約7年	
【ローリング回数】 1回		【ローリング回数】 1回		【ローリング回数】 2回		【ローリング回数】 1回		【ローリング回数】 1回	
【ローリングフロー】		【ローリングフロー】		【ローリングフロー】		【ローリングフロー】		【ローリングフロー】	
① (1期工事)事前工事		① (1期工事)事前工事		① (1期工事)事前工事		① (1期工事)代替敷地に仮設校舎を建設		① (1期工事)事前工事	
② (1期工事)校舎・体育館を建設		② (1期工事)校舎・体育館を建設		② (1期工事)管理棟・校舎棟建設・外構工事		② (1期工事)現校舎・体育館 解体		② (1期工事)グラウンドに仮設校舎を建設	
③ (1期工事)旧校舎・旧体育館を解体		③ (1期工事)旧校舎・旧体育館を解体		③ (1期工事)旧校舎西側解体		③ (1期工事)現校舎位置に建替え・外構整備		③ (1期工事)現校舎・体育館 解体	
④ (1期工事)外構工事		④ (1期工事)外構造成・グラウンド整備工事		④ (2期工事)体育館棟建設		④ 中学校完成・代替敷地の仮設校舎解体		④ (1期工事)現校舎位置に建替え	
⑤ 中学校完成		⑤ 中学校完成		⑤ (2期工事)旧校舎東側・旧体育館解体		⑤ (増築工事)小学校統合		⑤ (1期工事)仮設校舎解体	
⑥ (増築工事)小学校統合		⑥ (増築工事)小学校統合		⑥ (2期工事)校舎棟南側外構工事				⑥ (1期工事)外構整備	
				⑦ 中学校完成				⑦ 中学校完成	
				⑧ (増築工事)小学校統合				⑧ (増築工事)小学校統合	
【メリット】 既設校舎と工事区域の明解な分離が可能		【メリット】 校舎とグラウンドレベルの段差解消		【メリット】 配置計画が良い・最もコンパクト		【メリット】 学校と工事が完全分離		【メリット】 代替敷地不要	
【デメリット】 校舎よりグラウンドレベルが2m高い		【デメリット】 造成費・工期増、安全対策が必要		【デメリット】 仮設、インフラ盛替え必要・安全対策が必要		【デメリット】 通学ルート変更・仮設校舎費 事業費大幅増		【デメリット】 仮設校舎費 事業費大幅増 工期増	
【仮設校舎】 不要		【仮設校舎】 不要		【仮設校舎】 不要		【仮設校舎】 代替敷地に必要 ※費用大		【仮設校舎】 グラウンドに必要 ※費用大	
【仮設計画(計画の容易性)】		【仮設計画(計画の容易性)】		【仮設計画(計画の容易性)】		【仮設計画(計画の容易性)】		【仮設計画(計画の容易性)】	
仮囲い必要		仮囲い必要・掘削盛土のため、 学校駐車場、工事車両等町役場利用の必要あり		仮囲い必要・仮設及びインフラの盛替えが必要		仮囲いは出入口のみ		仮囲い必要	
【学校関係者と工事関係者の動線交錯状況】		【学校関係者と工事関係者の動線交錯状況】		【学校関係者と工事関係者の動線交錯状況】		【学校関係者と工事関係者の動線交錯状況】		【学校関係者と工事関係者の動線交錯状況】	
一時期動線が交錯:警備にて対応		有り:外構・造成工事 (現テニスコートに擁壁 グラウンド掘削土移設)		一時期動線が交錯:警備にて対応		無し		一時期動線が交錯:警備にて対応	
【運動施設(体育館)】		【運動施設(体育館)】		【運動施設(体育館)】		【運動施設(体育館)】		【運動施設(体育館)】	
使用可		使用可		使用可		使用不可(代替敷地に仮設体育館無し)		使用不可(仮設体育館無し)	
【運動施設(グラウンド等)】		【運動施設(グラウンド等)】		【運動施設(グラウンド等)】		【運動施設(グラウンド等)】		【運動施設(グラウンド等)】	
使用不可		使用不可		1期工事完了後、使用可		使用不可(代替敷地にグラウンド整備?)		使用不可	

--- 既存下水道ライン(移設不可)
--- 新設擁壁

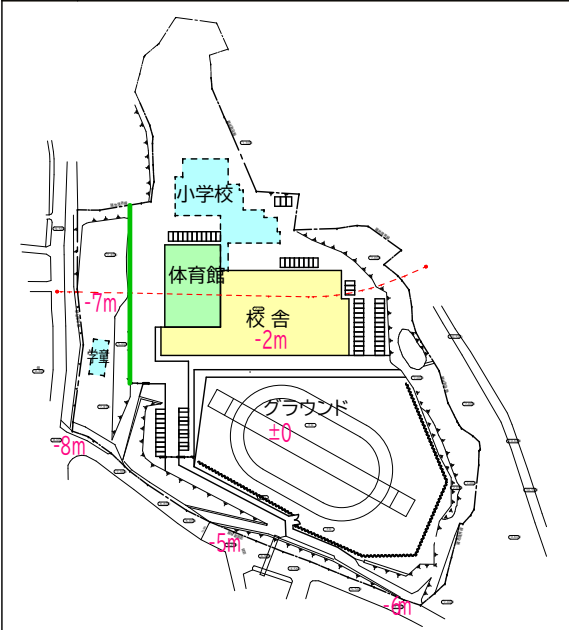
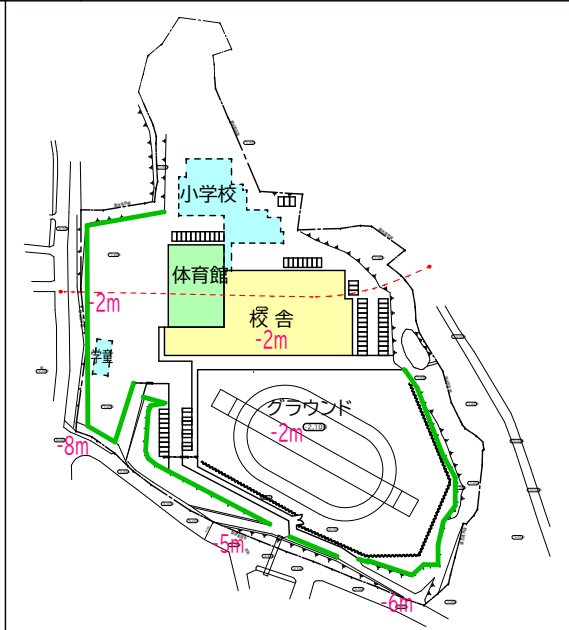
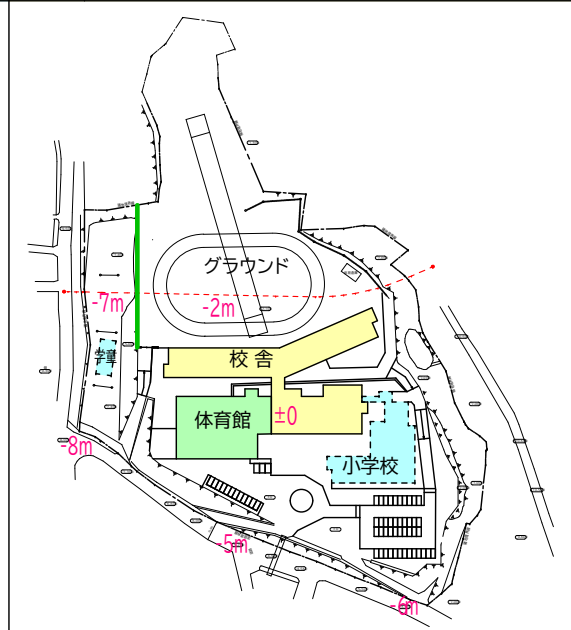
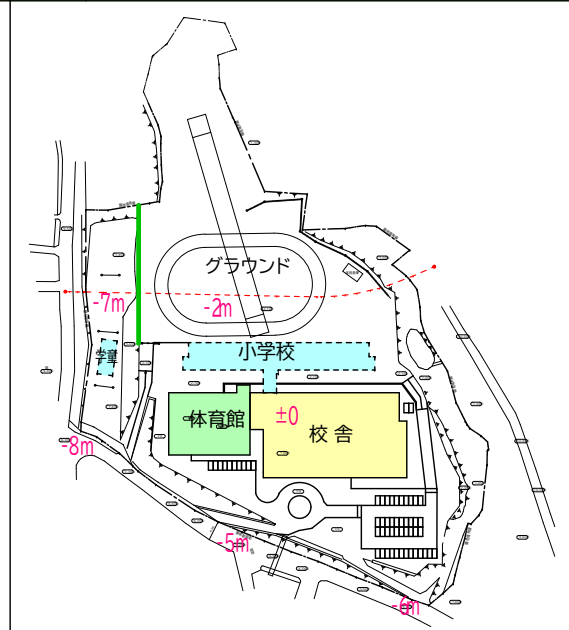
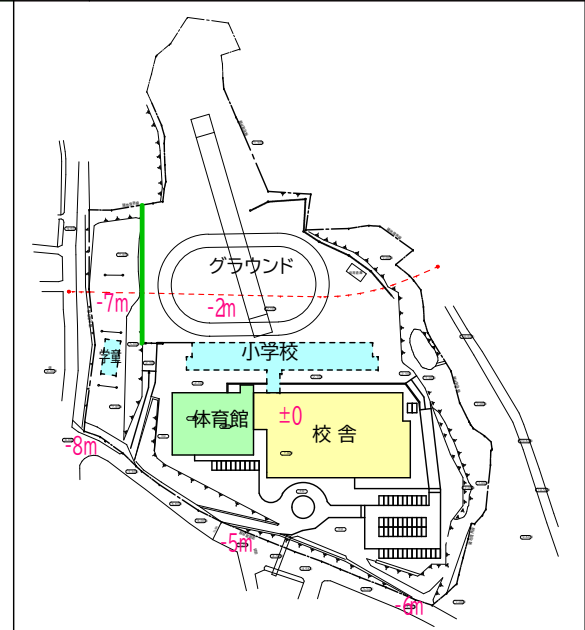
S:1/4000

<比較検討資料（高低差）>

A 案	 防球ネット ±0 <グラウンド> ±0 中学校 体育館 小学校 下水道=杭を避ける 歩道橋 -4500 岡垣町役場 岡垣中学校 民有地 南 北	・ 下水管の上に建設するため、杭を避けて計画が必要 ・ 校舎よりグラウンドが2 m高い。砂埃等への対策が必要 ・ グラウンド南側、東側に防球ネットが必要 ・ 校舎が前面道路から奥まって見えるため、視認性が劣る
B 案	 スロープ勾配変更 歩道橋レベル変更の場合、対策必要 防球ネット <グラウンド> 中学校 体育館 小学校 下水道=杭を避ける 歩道橋 -4500 岡垣町役場 岡垣中学校 民有地 南 北	・ 校舎・グラウンド・テニスコートの地盤面がフラットとなり、工事完了後は高低差がなく、敷地を利用しやすい ・ 下水管の上に建設するため、杭を避けての計画が必要 ・ 現校舎側の地盤面を2 m掘削するため、工事費が増、工事期間が長い ・ 地盤面2 m掘削時は、騒音・粉塵等の影響があるため、仮設費（仮囲いなど）増 ・ 掘削土の移動の際は、通学路と交錯するため、交通誘導員を配置するなどの安全対策が必要 ・ 現校舎側を掘削後、南側道路との高低差は5 m程度あるため、スロープが必要。スロープは緩勾配への変更となる ・ グラウンド南側、東側に防球ネットが必要 ・ 現テニスコート側は地盤面を5 m上げるため、擁壁が必要 ・ 幹線上水道の盛替えが必要
C 案	 小学校 体育館 中学校 ±0 ±0 -2100 <グラウンド> 下水道 歩道橋 -4500 岡垣町役場 岡垣中学校 民有地 南 北	・ 現状と同じく、前面道路から校舎を臨むことができる ・ 将来南側に小学校を計画できるため、小学生のアクセスが良い ・ 下水管の上に構造物を計画しないため、平面計画の制約がない ・ 普通教室への日当たりを良くするため、教室棟1階部分は、配膳室や部室を配置し、2階以上の階層に普通教室を配置する必要がある。
D 案	 中学校 体育館 小学校 ±0 ±0 -2100 <グラウンド> 下水道 歩道橋 -4500 岡垣町役場 岡垣中学校 民有地 南 北	・ 現状と同じく、前面道路から校舎を臨むことができる ・ 下水管の上に構造物を計画しないため、平面計画の制約がない
E 案	 中学校 体育館 小学校 仮設校舎 ±0 ±0 -2100 <グラウンド> 下水道 歩道橋 -4500 岡垣町役場 岡垣中学校 民有地 南 北	・ 現状と同じく、前面道路から校舎を臨むことができる ・ 本設時は下水管の上に構造物を計画しないため、平面計画の制約がないが、仮設校舎建設時に杭を避けて計画する必要がある

S:1/3000

<比較検討資料(総括表)>

A案 現グラウンド位置に建替え	B案 現グラウンド位置に建替え 現在の校舎解体後、敷地の高低差を解消	C案 現在の校舎位置に隣接して建替え 2期に分けてローリング建替え	D案 代替敷地に仮校舎建築後 現校舎位置に建替え	E案 現在のグラウンド位置に仮校舎建築 現校舎位置に建替え
				
●生徒の動線やグラウンドとの高低差による利便性に課題がある一方、体育館へのアクセスや避難所運営時の動線分離に優れている。 ●将来の義務教育学校化や小学校増築時には小学生の動線が長くなることや、管理棟・グラウンドへのアクセス、駐車場・サブグラウンドの確保に課題がある。 ●概算総工事費は、比較案の中で最も経済性に優れている。 ●校舎の視認性が低いことや、埋設下水道管を避けた杭計画が必要となるなど、敷地条件に応じた設計上の配慮が求められる。	●敷地をフラットに整備することで教育環境や車両動線の利便性が向上し、避難所運営時の生徒と避難者の動線も明確に分離できる一方、生徒や将来の小学生の動線には課題が残る。 ●将来の義務教育学校等化や小学校増築への対応では、管理棟・グラウンドへのアクセスに課題があるものの、駐車場やサブグラウンドの配置は他案より自由度が高い。 ●概算総工事費は、造成工事や仮設通学路の設置など、国庫補助対象外となる経費の割合が高い。 ●造成工事に伴う騒音・振動による授業への影響や、工事車両と通学路の交錯への対策として仮設通学路の整備が必要となる。 ●掘削工事等に伴う追加工事のリスクや埋設下水道管を避けた杭計画が必要となるなど、施工上の配慮が求められる。	●正門と校舎が直結することで生徒の動線が短く、正門の視認性や防犯性、普通教室棟の日当たりに優れる一方、生徒、車両や避難所運営時の動線が一部交錯する課題がある。 ●将来の義務教育学校等化や小学校増築への対応では、小学校増築部分へのアクセスや見守り環境、民有地を収用した場合のグラウンド計画の自由度に優れる一方、体育館への動線や駐車場の確保に課題がある。 ●工事期間中は校舎を使用しながら施工するため、騒音・振動への対策が必要となるが、通学動線の交錯は比較的少なく、安全性は確保しやすい。 ●概算総工事費は、ローリング工事に伴う仮設施設やインフラの敷設替えの費用が必要となる。 ●校舎を敷地前面に配置されるため、施設全体の視認性に優れる。	●正門と校舎が直結することで生徒の動線が短く、管理棟から正門を確認しやすい一方、生徒・車両や避難所運営時の動線が一部交錯する課題がある。 ●体育館へのアクセスや民有地を収用した場合のグラウンド計画の自由度は良好であるものの、グラウンドとの高低差による利便性や小学校増築時の動線、駐車場の確保に課題あり。 ●工事期間中は、約3.5年間にわたり代替敷地の仮設校舎を利用する必要があり、通学場所の変更や体育館代替施設の確保など、学校運営への影響が大きい。 ●概算総工事費、仮設校舎の整備や代替敷地のインフラ整備等が必要であり、高額となることが想定される。 ●校舎の視認性は現在と同程度に維持される一方、小学校部分は中学校部分の背後に配置される。	●正門と校舎が直結することで生徒の動線が短く、管理棟から正門を確認しやすい一方、生徒・車両や避難所運営時の動線が一部交錯する課題がある。 ●体育館へのアクセスや民有地を収用した場合のグラウンド計画の自由度は良好であるものの、グラウンドとの高低差による利便性や小学校増築時の動線、駐車場の確保に課題あり。 ●工期は約7年と長く、約4年間にわたる仮設校舎の利用やグラウンド、体育館の使用制限に加え、生徒と工事車両の動線が交錯するため、学校運営への影響が大きく、安全対策が必要となる。 ●概算総工事費は、仮設校舎の整備やインフラ敷設替え等が必要であり、高額となることが想定される。 ●校舎の視認性は現在と同程度に維持される一方、小学校部分は中学校部分の背後に配置される。

--- 既存下水道ライン(移設不可)
--- 新設擁壁
S:1/4000

<工程案別評点表>

◎:5点 ○:4点 △:3点 ▲:2点 ×:1点

※検討の結果、最も得点の高いC案に決定しました。

評価項目	評価の視点	傾斜 配点	得点									
			A案		B案		C案		D案		E案	
内容	内容	満点	評価	評価内容	評価	評価内容	評価	評価内容	評価	評価内容	評価	評価内容
1 完成後のレイアウト	①施設の位置関係	×1.5	○	・正門と校舎棟の間にグラウンドが位置しているため、生徒の動線が長くなる。 ・緊急車両のアクセスは容易であるが、バス等の大型車両の転回が難しい。 ・避難所運営時の生徒、避難者の動線が明確に分離可能。	○	・正門と校舎棟の間にグラウンドが位置しているため、生徒の動線が長くなる。 ・現テニスコート、校舎棟敷地、グラウンドがフラットになるため、車両の動線が確保しやすい。 ・避難所運営時の生徒、避難者の動線が明確に分離可能。	○	・正門と校舎棟が直結しているため生徒の動線が短くなる。 ・管理棟から正門の様子が確認しやすい。 ・敷地内の生徒動線と車両動線が一部交錯する。 ・避難所運営時の生徒、避難者の動線が交錯する。	○	・正門と校舎棟が直結しているため生徒の動線が短くなる。 ・管理棟から正門の様子が確認しやすい。 ・敷地内の生徒動線と車両動線が一部交錯する。 ・避難所運営時の生徒、避難者の動線が交錯する。	○	・正門と校舎棟が直結しているため生徒の動線が短くなる。 ・管理棟から正門の様子が確認しやすい。 ・敷地内の生徒動線と車両動線が一部交錯する。 ・避難所運営時の生徒、避難者の動線が交錯する。
	②生徒の動線											
	③車両の動線	7.5	6		6		6		6		6	
	④災害時避難所としての利便性											
2 完成後の教育環境	①校舎間移動の容易性	×1.5	○		◎		○	・正門と普通教室の間に管理棟が配置されるため、正門の様子が視認しやすく、防犯上も優れている。 ・普通教室棟への日当たりが最もよい。 ・普通教室棟から管理棟を経て体育館にアクセスするため、体育館の利便性が他案より低い。 ・敷地北側の民有地を収用した場合、グラウンド計画の自由度が高まる。	○	・普通教室棟と体育館が隣接しているため、体育館のアクセスが容易である。 ・グラウンドと校舎棟の間に高低差があるため、利便性が低い。 ・敷地北側の民有地を収用した場合、グラウンド計画の自由度が高まる。	○	・普通教室棟と体育館が隣接しているため、体育館のアクセスが容易である。 ・グラウンドと校舎棟の間に高低差があるため、利便性が低い。 ・敷地北側の民有地を収用した場合、グラウンド計画の自由度が高まる。
	②グラウンドの利便性											
	③体育館の利便性	7.5	6		7.5		6		6		6	
	④児童生徒の安全など											
	⑤日当たりの良さ											
3 将来の義務教育学校化 ・小学校増築への対応	①小学校部分の配置	×1.0	△	・小学校増築部分が敷地北側に配置されるため、小学生の動線が長くなる。 ・小学校増築部分から管理棟、グラウンドまでの距離が離れている。 ・駐車場やサブグラウンドの確保が難しい。	○	・小学校増築部分が敷地北側に配置されるため、小学生の動線が長くなる。 ・小学校増築部分から管理棟、グラウンドまでの距離が離れている。 ・敷地内がフラットとなるため、駐車場、サブグラウンドの確保が他案より自由度が高い。	○	・正門から小学校増築部分までの動線が最も短くなる。 ・小学校増築部分と管理棟が隣接しており、職員の目が届きやすい。 ・小学校増築部分から体育館までの動線が長く利便性が低い。 ・駐車場やサブグラウンドの確保が難しい。	○	・小学校増築部分が、中学校部分の北側に配置されるため、小学生の教室までの動線が長くなる。 ・小学校増築部分から管理棟までの距離が離れている。 ・駐車場やサブグラウンドの確保が難しい。	○	・小学校増築部分が、中学校部分の北側に配置されるため、小学生の教室までの動線が長くなる。 ・小学校増築部分から管理棟までの距離が離れている。 ・駐車場やサブグラウンドの確保が難しい。
	②児童生徒の動線											
	③駐車場の確保	5	3		4		4		4		4	
	④サブグラウンドの確保											
4 工事期間中の学校運営 ・安全性	①通学時の環境・安全性	×1.0	◎	・小学校増築部分が敷地北側に配置されるため、小学生の動線が長くなる。 ・小学校増築部分から管理棟、グラウンドまでの距離が離れている。 ・駐車場やサブグラウンドの確保が難しい。	○	・造成期間の工事の騒音、振動等は大きいため、授業への影響が懸念されるが、特段の対策を行うことで対応可能。 ・掘削土をテニスコートに移動する際、通学路と工事車両が交錯するため、仮設通学路等が必要。	◎	・校舎を利用しながら隣接して工事を行うため、騒音・振動等が懸念されるが、特段の対策を行うことで対応可能。 ・小学校増築時を含む通学のアクセスは、工期により出入口の変更はあるが、交錯は少ない。	○	・仮設校舎利用期間が長い(約3.5年)。 ・代替敷地への仮設校舎設置となるため、通学場所の変更などの影響が大きい。 ・代替敷地には体育館がないため、代替施設確保が必要。	△	・工期が長い(約7年)。 ・仮設校舎利用期間やグラウンド、体育館使用不可期間が長い。(約4年) ・工事中生徒と工事車両の動線が交錯するため、安全対策が必要
	②工事中の授業への影響											
	③工事中の学校運営への影響	5	5		4		5		4		3	
5 工事費	①建築費	×3.0	◎	・最も費用が掛からない。	○	・掘削による造成工事費が必要 ・仮設通学路設置が必要。 ・総工事費のうち造成・仮設通学路など国庫補助対象外となる経費の割合が高い。	◎	・ローリング工事による仮設・インフラの布設替えが必要。	△	・仮設校舎の費用大。 ・代替敷地への仮設校舎建設のため、インフラ整備費が必要。	○	・仮設校舎の費用大。
	②土木工事費											
	③その他経費	15	15		12		15		9		12	
6 その他	①その他工事費に関すること	×1.0	○	・校舎がグラウンドより低い位置かつ敷地奥側に建設されるため、校舎棟の視認性が低い。 ・埋設下水管の上に校舎を建設するため、杭を管から避ける計画が必要。	△	・掘削を行うため、追加工事や想定外工事の可能性あり。 ・埋設下水管の上に校舎を建設するため、杭を管から避ける計画が必要。	○	・校舎が敷地の手前側に配置されるため、校舎棟の視認性が高い。	○	・校舎が現在と同じような配置となるため、校舎棟の視認性が保たれるが、小学校部分が中学校部分の背後に位置することとなる。	△	・工期が長く、資材価格の変動による影響が大きい。 ・校舎が現在と同じような配置となるため、校舎棟の視認性が保たれるが、小学校部分が中学校部分の背後に位置することとなる。
	②地域住民への影響・景観	5	4		3		4		4		3	
合計	満点	45	39		36.5		40		33		34	

(4) 配置計画

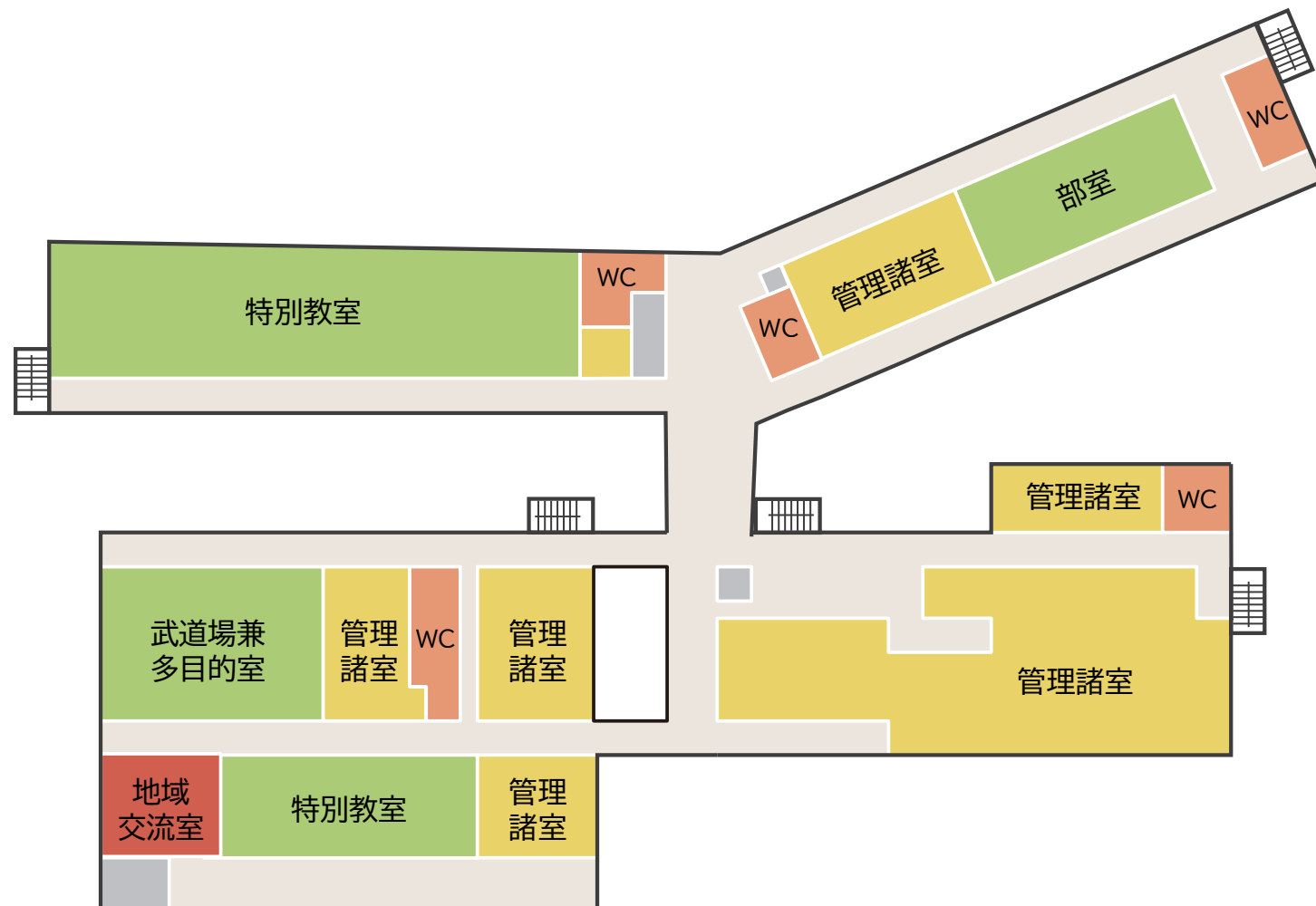
- ・管理棟を教室棟と正門の間に配置することで、正門の視認性や防犯性を高めます。
- ・教室棟東側は、普通教室への日当たりを考慮した配置とし、1階部分には、配膳室や部室を配置することを想定しています。
- ・体育館棟は、地域利用時や災害時の避難所開設時にアクセスしやすくするため、敷地南側に配置します。
- ・将来的な義務教育学校等化による小学校部分増築時に、小学生の校舎までの動線が短くなるよう、小学校増築想定地は、敷地東側に確保します。



(5) 平面計画(ゾーニング)

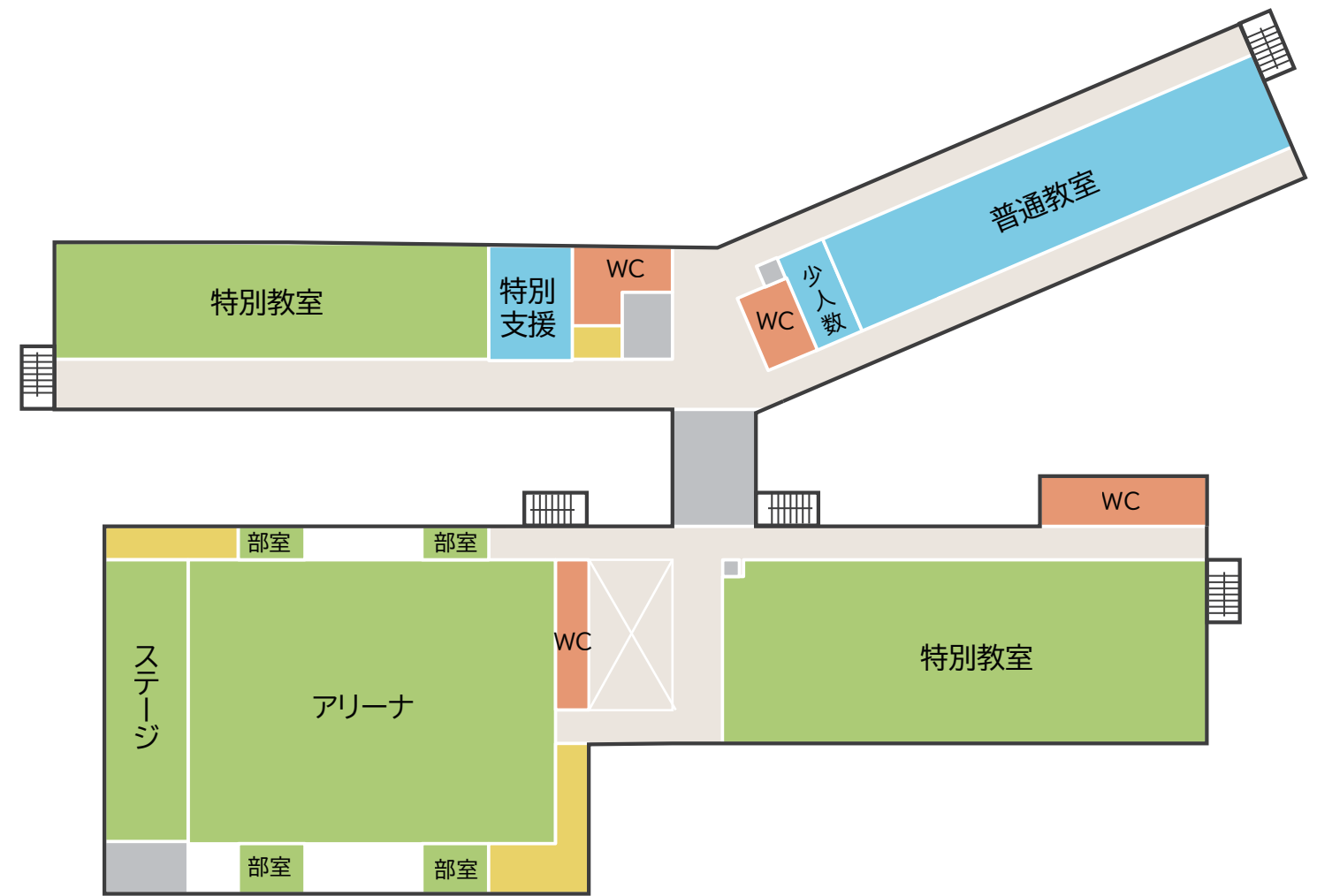
<1階平面図>

岡垣中学校(デフォルメ図)



<2階平面図>

岡垣中学校(デフォルメ図)

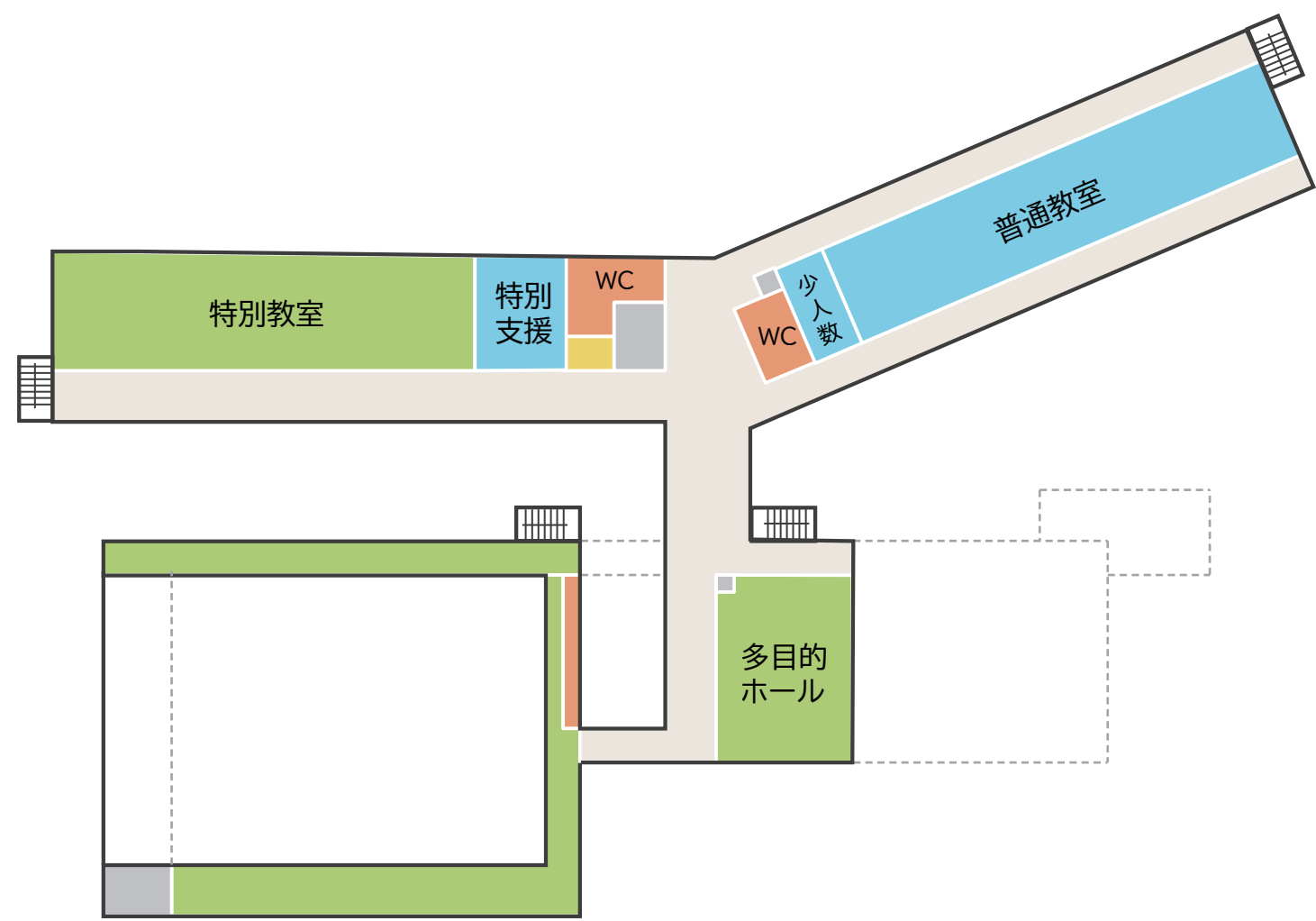


凡例	
■	普通教室
■	特別教室・多目的室・部室等
■	管理諸室・準備室・倉庫等
■	便所
■	階段・EV
■	廊下・ホール

0 10 20 30 m S=1/600(A3)

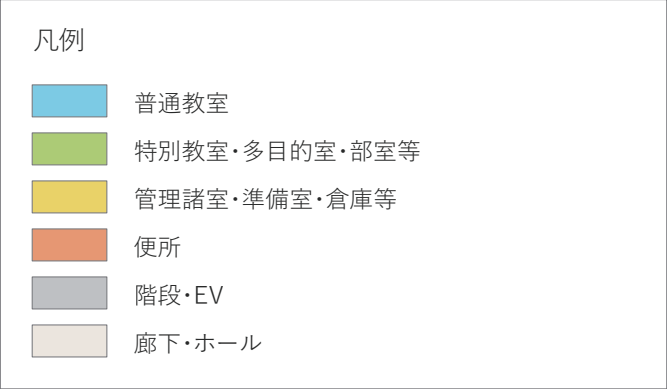
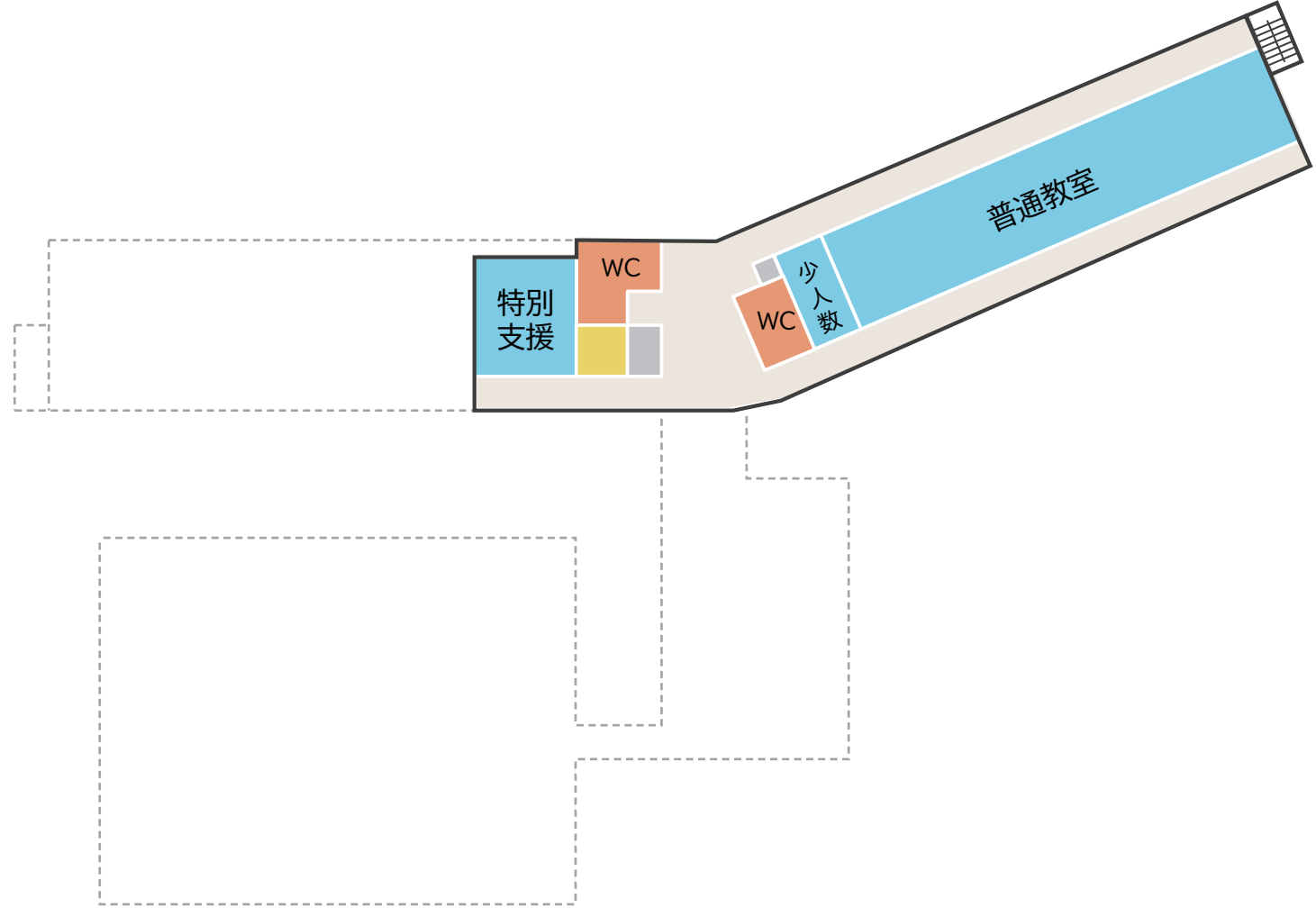
<3階平面図>

岡垣中学校（デフォルメ図）



<4階平面図>

岡垣中学校（デフォルメ図）



〈普通教室ゾーン〉

普通教室	普通教室は、全ての教室において南側からの自然採光を確保することで、明るく居心地の良い学習空間とする。また、通常の机より天板が広い机を並べても余裕がある面積を確保する。
少人数教室 特別支援教室	交流学級などで、移動距離が短くなるよう、普通教室に近い位置に配置する。

〈特別支援学級ゾーン〉

教室	教室棟西側に配置し、ひとまとまりのゾーンを形成する。
通級指導教室 教育支援室	集団での登下校が苦手な生徒に配慮するため、昇降口とは別の通用口を設置します。
多目的室	特別支援学級等の必要教室数の増加に対応できるよう、普通教室への転用が可能な計画とする。
理科教室	義務教育学校等化など将来的な拡張を想定し、理科教室は2室とする。
音楽室・美術室	音楽室はひな壇形状の部屋とし、音の響きの良い教室環境とする。美術室は音楽室と隣接するなどの工夫を行う。
家庭教室	調理室は、体育館を避難所として利用する際、炊き出しの調理場として活用することが想定されるため、食料をアリーナへ搬入しやすい配置とすること。
技術室	他教室への音の配慮や資材搬入のしやすさを考慮するため、1階部分に配置する。
図書室・コンピュータ室	メディアルームとして整備し、図書利用とタブレット端末利用が共存できる空間を目指す。

〈管理施設ゾーン〉

職員室	防犯上の観点から、生徒の登下校の様子が見えやすく、学校敷地への進入経路が目視しやすい校舎前庭側に配置するとともに、生徒昇降口に近い位置に配置する。また、将来義務教育学校等化により、教員が増えた際に対応し得る広さを確保すること。
保健室	緊急車両が容易にアクセスできるよう、校舎南側の中にはに隣接した配置とし、専用通用口を設置する。
配膳室	給食は給食センターからトラックで配食されるため、サービス車両のアクセスがしやすい教室棟1階に配置する。なお、各階の教室に容易に配膳させるため、隣接してエレベーターを設置する。
部室	グラウンドへのアクセスが容易な教室棟1階に配置する。なお、将来義務教育学校等化により、給食室への改修が容易な構造とすること。

〈体育施設ゾーン〉

体育館・武道場	二層式とし、1階部分には、将来義務教育学校等化によるサブアリーナとして活用できる武道場を配置し、校舎前庭側には、保健室や通級指導教室、教育支援室、地域交流室を配置し、諸室に直接アクセスできるようにする。 2階部分は生徒数の規模と地域の屋内運動施設として充足する広さを確保するとともに、観覧スペースを設ける。また、避難所機能充実の観点から備蓄庫を設置するとともに、避難所運営時には、学校施設との分離ができるよう、校舎側からの進入経路には、アルミ柵などを設置する。
グラウンド	200mトラックや100m直線走路、野球、サッカーコートを展開できるよう、限られた敷地内で最大限活用できる計画とする。また、将来の義務教育学校等化を見据え、敷地北側にサブグラウンドが確保できる配置とする。
テニスコート	現在のテニスコート位置を基本とする。

〈地域開放ゾーン〉

地域開放部分	地域交流室、武道場、体育館を想定する。
地域交流室	地域住民が直接アクセスできるよう、体育館1階前庭側に配置し、通用口を設ける。
武道場	地域の集会、イベント会場としても活用できるよう、段差のない空間とする。また、複数の部屋に分割できるよう移動式の間仕切りを設置する。

〈その他〉

便所	洋式便所を基本とするが、屋内運動場の便所には、和式便所を設置する。また、衛生面から乾式を基本とし、ゆとりのある広さを確保する。また、多目的便所を併設する。
駐車場	教職員用として45台、来客用として15台程度、合計60台程度の駐車枠を確保する。
駐輪場	約130台が駐輪できる規模を確保する。
将来拡張	将来義務教育学校等化を見据え、敷地東側に小学校増築用地を確保する。なお、増築する小学校部分は、地上3階建2学級6学年と特別支援学級4学級程度、多目的室や既存部分で不足する特別教室を配置することを想定するとともに、教育環境や必要教室数の増減に対応できる多目的ホールの配置を想定。

<施設構成表>

	用途	計画コマ	室数	想定面積	備考
普通教室ゾーン	普通学級	1	15	1,080	
	特別支援学級	0.5	6	216	
	少人数教室	0.5	3	108	
特別教室ゾーン	理科室	1.5	2	216	
	理科準備室	0.5	1	36	
	音楽室	2	1	144	
		1.5	1	108	
	音楽準備室	0.5	1	36	
	家庭教室	1.5	2	216	
	家庭準備室	0.5	1	36	
	技術室	2	1	144	
	技術準備室	0.5	1	36	
	美術室	2	1	144	
	美術準備室	0.5	1	36	
	図書室	4	1	288	
	多目的室	1.5	1	108	
	多目的ホール	4	1	288	
		2.5	1	180	
管理部門ゾーン	職員会議室	1.5	1	108	
	校長室	0.5	1	36	
	事務室	0.5	1	36	
	応接室	0.5	1	36	
	職員室	2.5	1	180	
	職員更衣室	0.5	2	72	
	印刷室	0.25	1	18	
	放送室	0.5	1	36	
	給湯室・休憩室	0.25	1	18	
	校務員室	0.5	1	36	
	生徒会室	0.5	1	36	
	配膳室(1F)	1.5	1	108	
	配膳室(2～4F)	0.25	3	54	
	職員便所	0.5	1	36	
	生徒便所(多目的含)	1.25	5	450	
	屋外生徒便所	0.5	1	36	
	生徒昇降口・玄関	2.5	1	180	
	教材庫・器具庫	0.25	4	72	
	部室	0.25	10	180	

	用途	計画コマ	室数	想定面積	備考
屋内運動場	保健室	1.5	1	108	
	相談室	0.5	1	36	
	通級指導教室	1.5	1	108	
	教育支援室	1	1	72	
	地域交流室	1	1	72	地域連携施設
	給湯室	0.15	1	11	地域連携施設
	備蓄庫	0.75	1	54	防災施設
	武道場(多目的室)	-	-	504	
	武道場倉庫	0.25	1	18	
	生徒更衣室	0.75	2	108	
	部室	0.25	1	18	
	便所(多目的含)	0.75	1	54	
	体育室(アリーナ)	-	-	1,027	ステージ・控室含
	器具庫	0.5	2	72	
	2F 教室	0.5	1	36	
	部室	0.25	4	72	
	便所(多目的含)	0.75	1	54	

諸室性質	想定面積
普通教室	1,404
特別教室	2,232
管理施設	1,836
地域連携施設	83
防災施設	54
屋内運動場	1,963
廊下・階段・エレベーター 等	適宜
合計	7,572 + α

施設区分	想定面積
校舎	5,472 + α
屋内運動場	2,100 + α

※計画コマは普通教室1室を1コマとして検討

※普通教室は72㎡(W8.5m×D8.5m)程度を想定。

(6)設計・工事スケジュール

以下のスケジュールを予定しています。

[illegible]

	令和11年度 2029年度												令和12年度 2029年度												令和13年度 2030年度												令和14年度 2031年度												令和15年度 2032年度												令和16年度 2032年度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
設計													体育館棟実施設計 旧校舍西側解体設計																				土木2期分実施設計 旧校舍東側・体育館解体設計																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					

